

「カプラ」で遊ぼう

水口町保育園保護者研修



▲慎重に「カプラ」を積み上げる親子

水口町保育園保護者連絡協議会が行う保護者研修が12月1日、碧水ホールで開かれ、水口町内の保育園に通う園児と保護者340名が単一の形をした積み木「カプラ」を楽しみました。

この催しは、保護者の親睦と交流を図ろうと同会が毎年開催しているものです。

会場には約3万枚のカプラが用意され、親子は、どこまで高く積み上げられるか挑戦したり、かまぐらや列車など思い思いの形を作り出したりして夢中になって取り組みました。

ステージ上には、約2千枚を使った立体ドミノ「ナイアガラの滝」が作られ、心地よい音を立て美しく崩れると、会場からは拍手が沸き起こりました。

お茶の文化に親しむ

ASAMIYAフェスタ2013

朝宮茶まつりと朝宮学区文化祭が11月23日、朝宮小学校で開催され、多くの来場者で賑わいました。

茶まつりは、香り高い朝宮茶を広く知ってもらおうと信楽町茶業協会が20年ほど前から開催しているもので、手もみ茶体験やお茶当てクイズなどが催されました。

産地で朝宮茶を味わえる機会に、生産者は、「急須で淹れたお茶の美味しさを見直してほしい」と話し、参加者は、味わいの違いを実感していました。

また、文化祭では朝宮小学校児童による朝宮茶摘み唄などの合唱が披露され、お茶の文化に親しむ一日となりました。



▲朝宮茶摘み唄などの合唱を披露する朝宮小学校児童

市内観光の魅力を再発見

THE宝探しin甲賀



▲宝箱見つけた

市では、市内観光の魅力を再発見してもらおうと、市内の観光資源「甲賀流忍術」「東海道の宿場」「信楽(紫香楽)」をテーマにした謎解き宝探しイベント「THE宝探しin甲賀」を11月23日から12月1日までの9日間開催しました。

市内全域が宝探しエリアとなり、「宝地図」を手掛かりに隠された3つの宝箱を探すもので、市内外から約1,000名の方が挑戦しました。

参加者は、「宝地図」に記された暗号を解きながら東海道伝馬館、油日神社、信楽窯元散策路などの観光スポットをめぐる宝箱を探しました。

県外から参加された方は「初めて訪れたが、とても魅力的。ぜひまた来たい」と話していました。

元気なまちかど

子どもの健やかな成長のために

甲賀市青少年健全育成市民大会



▲チームメンバーとステージに立つ今村氏

青少年育成活動のより一層の推進を図ることを目的に、甲賀市青少年育成市民会議が主催する大会が11月16日、忍の里プラザで開催され、保護者や関係者など約200名が参加しました。

積極的な活動を行った個人や団体に對し表彰が行われたほか、市内中学生が意見作文を発表しました。

また、「共育者」としてダンスチーム「関西京都今村組」を率いる今村克彦氏を迎え、「共育」を共に育つということ」をテーマに記念講演が行われました。

同氏は、子どもの人としての成長をダンスを通じて取り組んでおり、今までの経験を交えながら、周囲の大人が子どもを信じ、支えることの大切さを訴えかけました。

秋の古城山で国際交流

おやまdeコミュニケーション



▲山頂の澄んだ空気を満喫

国際交流グループ「鹿深でござれー」が主催する「おやまdeコミュニケーション」が11月23日、ブラジルや中国籍などの住民ら約10名が参加して開催されました。

この催しは、水口古城山で在住外国人の皆さんと一緒にハイキングを楽しみ、お互いの持つ文化的背景を尊重して交流できる場を作ることが目的です。

一行は、赤や黄に彩られた秋の古城山で頂上までハイキングし、おにぎりや唐揚げの詰まったお弁当をみんなでお楽しみました。

中国から来日中の参加者は「実は山登りは生まれて初めて体験しました。自然を大事にする文化が素敵ですね」と、興味深い様子で話してくれました。

パレスチナの一団が市内設備を視察

ジェリコ市水環境改善・有効活用計画



▲熱心に説明を聞く視察団

中東パレスチナの都市ジェリコ市の視察団11名が11月20日、日本の援助で同市に公営汚水処理施設を建設するJICA実施のプロジェクトの一環として、土山町オー・デュー・プールの汚水処理技術を視察しました。

ジェリコ市は、旧約聖書などにも登場する歴史深い街でヨルダン川西岸地区にありますが、この地域は、海抜が低く水が流れにくいいため、汚水が環境に悪影響を及ぼしています。

技術者と政府や市の職員が、建設中の先進施設を自分たちで管理・運営するための基礎知識を学び、この問題の解決にあたります。

視察団の一人は、下水道課職員の解説に「国の未来のため」と学ばねば」と熱心に質問し、メモをとっていました。